



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月10日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社
コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 智成
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 海老沼 博行
配当支払開始予定日 — TEL 044-813-8026
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,658	22.5	175	—	142	—	116	—
2024年3月期第3四半期	7,302	6.7	420	53.5	476	54.1	330	63.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 27百万円 (95.8%) 2024年3月期第3四半期 665百万円 (44.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	141.54	—
2024年3月期第3四半期	402.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	15,339	13,217	86.2	16,062.56
2024年3月期	15,535	13,272	85.4	16,128.57

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 13,215百万円 2024年3月期 13,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年 3月期の連結業績予想(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,500	20.6	620	—	550	—	500	607.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
連結業績予想の修正につきましては、本日(2025年2月10日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	842,520 株	2024年3月期	842,520 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	19,769 株	2024年3月期	19,749 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	822,765 株	2024年3月期3Q	822,867 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界の経済環境は、各国においてインフレ圧力の緩和が進み、欧米を中心に個人消費が堅調に推移するなど緩やかな回復基調にあるものの、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化などの地政学リスク、米国大統領選後の政権交代に伴う政策転換が世界経済に及ぼす影響など、先行き不透明な状況が続いております。日本経済におきましては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等はあるものの、不安定な国際情勢に加え、中国の景気低迷の長期化、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇の影響継続など、先行きに対する不透明感が更に強まっております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる過剰な先行受注により、市場在庫が積み残されている状況にあり、在庫調整局面が依然として続いております。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定したグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2022年度から3か年の中期経営計画に取り組んでおり、最終年度となる2024年度も持続的な成長に向けて積極的な投資を行っております。また、中期経営計画では、行動理念として制定した「信頼し、信頼される良い会社」を目指す中で、「信頼」と「納期」を重点テーマとし、グループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開してまいりましたが、在庫調整局面が継続している影響等により厳しい状況で推移いたしました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,658百万円（前年同期比22.5%減）、営業損失は175百万円（前年同期は420百万円の営業利益）、経常損失は142百万円（前年同期は476百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は116百万円（前年同期は330百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、1米ドル152.48円（前年同期比6.5%の円安）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① 日本

日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、不安定な国際情勢、中国の景気低迷の長期化、原材料・エネルギー価格等の高騰や物価上昇の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる過剰な先行受注により、市場在庫が積み残されている状況にあり、在庫調整局面が依然として続いております。こうした中、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューションビジネスの確立」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比25.4%減、グループ間の取引を含んだ売上高は4,546百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

② 欧米

欧米各国にてインフレ圧力の緩和が進み、個人消費が堅調に推移するなど緩やかな回復基調にあるものの、米国大統領選後の政権交代に伴う関税を始めとする政策転換による影響や、ドイツ経済回復の遅れなど、先行き不透明な状況となっております。また、欧米市場につきましても電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる市場在庫が積み残されたことによる在庫調整に加え、根強い物価高や高金利の維持による財務リスク回避のため在庫調整局面にあります。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」や「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比26.9%減、為替の影響も含め2,830百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

③ アジア

中国では、長引く不動産市場の停滞に加え国内需要が低迷しており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、アジア市場につきましても電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる市場在庫が積み残されたことによる在庫調整局面であることに加え、主力である韓国における輸出産業の鈍化が重しとなるなど、伸び悩んでいる状況にあります。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比18.6%減、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め3,013百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は15,339百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が295百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が347百万円、原材料及び貯蔵品が131百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が139百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が166百万円増加した一方、利益剰余金が198百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2024年5月8日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、為替レートにつきましては、1米ドル152円（第4四半期連結会計期間は、1米ドル150円）を前提としております。

詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,840,626	5,135,775
受取手形及び売掛金	1,430,882	1,083,331
商品及び製品	1,366,268	1,347,749
仕掛品	72,332	88,083
原材料及び貯蔵品	1,846,903	1,714,983
その他	480,757	431,178
貸倒引当金	△5,426	△5,471
流動資産合計	10,032,344	9,795,630
固定資産		
有形固定資産	3,359,995	3,255,657
無形固定資産	253,712	423,076
投資その他の資産	1,889,406	1,865,083
固定資産合計	5,503,115	5,543,818
資産合計	15,535,459	15,339,448
負債の部		
流動負債		
買掛金	563,888	664,444
未払法人税等	27,777	6,692
引当金	128,819	51,410
その他	795,687	656,322
流動負債合計	1,516,174	1,378,868
固定負債		
退職給付に係る負債	65,566	63,328
役員退職慰労引当金	209,800	223,075
その他	471,889	456,864
固定負債合計	747,256	743,268
負債合計	2,263,430	2,122,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,787,867	9,589,135
自己株式	△162,818	△162,912
株主資本合計	11,410,152	11,211,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611,373	589,475
為替換算調整勘定	1,248,596	1,414,681
その他の包括利益累計額合計	1,859,970	2,004,157
非支配株主持分	1,906	1,825
純資産合計	13,272,029	13,217,311
負債純資産合計	15,535,459	15,339,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,302,611	5,658,391
売上原価	4,327,316	3,297,016
売上総利益	2,975,294	2,361,375
販売費及び一般管理費	2,555,222	2,536,888
営業利益又は営業損失(△)	420,072	△175,512
営業外収益		
受取配当金	27,279	25,245
受取賃貸料	23,903	24,359
持分法による投資利益	14,188	—
その他	13,989	21,918
営業外収益合計	79,361	71,522
営業外費用		
支払利息	4,151	5,140
賃貸収入原価	10,015	10,009
為替差損	8,175	16,478
持分法による投資損失	—	6,564
その他	519	—
営業外費用合計	22,861	38,193
経常利益又は経常損失(△)	476,572	△142,183
特別利益		
固定資産売却益	247	259
投資有価証券売却益	21,168	89,151
特別利益合計	21,415	89,410
特別損失		
固定資産除却損	1,560	0
特別損失合計	1,560	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	496,428	△52,773
法人税、住民税及び事業税	128,448	11,355
法人税等調整額	36,847	52,406
法人税等合計	165,296	63,762
四半期純利益又は四半期純損失(△)	331,132	△116,535
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	223	△81
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	330,908	△116,454

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	331,132	△116,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,663	△21,897
為替換算調整勘定	248,613	166,085
その他の包括利益合計	334,277	144,187
四半期包括利益	665,409	27,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665,185	27,733
非支配株主に係る四半期包括利益	223	△81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,921,581	3,636,062	744,968	7,302,611
外部顧客への売上高	2,921,581	3,636,062	744,968	7,302,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,936,477	254	3,143,686	6,080,417
計	5,858,059	3,636,316	3,888,654	13,383,029
セグメント利益	96,999	290,323	175,282	562,605

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	562,605
セグメント間取引消去	△142,533
四半期連結損益計算書の営業利益	420,072

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,179,049	2,830,790	648,552	5,658,391
外部顧客への売上高	2,179,049	2,830,790	648,552	5,658,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,367,752	—	2,364,951	4,732,704
計	4,546,801	2,830,790	3,013,504	10,391,096
セグメント利益または損失（△）	△331,613	△87,415	44,248	△374,781

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△374,781
セグメント間取引消去	199,269
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△175,512

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	257,640千円	369,083千円